



津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH

例会日/毎火曜日
例会場/津都ホテル 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7
ピッチャーズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/林 裕行
幹事/飯田 聡
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



第2545回例会 2018年11月27日(火) 天候 晴

— 12月は疾病予防と治療月間 —



例会予定

- 12月4日(火) 会員卓話「がん研究の光と影」
田島 和雄会員
生田流琴大師範 磯輪雅楽之様
- 12月11日(火) 会員卓話「レマン湖の畔」
竹内 敏明会員
- 12月18日(火) 忘年夜間例会 18:30~
- 12月25日(火) 休会

進行担当

〔千原副SAA〕

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

来訪者

〔林会長〕

ゲストスピーカー 清水慎一郎様
(清水清三郎商店(株)代表取締役)

ガバナー補佐 西田 重好様
四日市RC 鈴谷 篤広君
津 RC 三藤 治喜君 山中 利之君

出席報告

〔伊藤(仁)副委員長〕

11月27日 出席率 52名中 39名 75.00%
11月13日 修正出席率 52名中 50名 96.15%

ニコBOX

〔大池委員〕

西田 重好様 中間訪問に寄せていただきました。
(ガバナー補佐)

鈴谷 篤広君(四日市RC) メークアップでお邪魔しております。いつも土田がお世話になっており、ありがとうございます。

三藤 治喜君(津RC) 本日はメークアップではありません。同級生の清水さんの卓話を聴かせてもらいにきました。清水さん、いつも「作」おいしくいただいています。

山中 利之君(津RC) メークアップでお世話になります。

林 裕行君 清水清三郎商店(株) 代表取締役 清水慎一郎様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。本日はガバナー補佐訪問例会です。西田重好ガバナー補佐、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

会長報告

〔林会長〕

- ◆ 津ロータリークラブより、「10月24日の津RCの例会において、日赤三重県支部点訳奉仕団への資料目録贈呈式を執り行いました」との報告が届いております。中日新聞・伊勢新聞・三重テレビ放送・ケーブルテレビZTV・三重タイムズで紹介されたということです。
- ◆ 衝撃的なニュースが多い中、2025年万博開催地が大阪に決定したという喜ばしいニュースが流れました。55年ぶり2度目の開催ということですが、前回の大阪万博は、私は18歳で免許取立てでしたが、父の縦目のセドリックで万博に行ったことが思い出されます。当時は、電気自動車が紹介されていたように思いますが、今度はどんなアイテムが登場するか楽しみです。2025年には74歳になりますが、行くつもりでいます。

幹事報告

〔飯田幹事〕

- ★ 12月ロータリーレート 1ドル¥112
- ★ 12月4日(火) 例会終了後、年次総会開催の件
- ★ 12月18日(火) 忘年夜間例会の件
- ★ 12月25日(火) 休会の件
- ★ 1月6日(日) 新年家族例会開催の件
- ★ 11月20日理事会議題の件
- ★ 例会変更 なし

ガバナー補佐挨拶 西田重好様



委員会報告《ロータリー財団委員会》

〔庄司委員長〕

- ロータリー財団年次寄付の御礼

臨時理事会報告

- 2019~2020年度理事役員候補者(案)の件 承認
- 新年家族例会会費の件 承認
会員 ¥10,000 ご家族 ¥3,000 (中学生以上)

11月20日 定例理事会追加報告

- 1月22日(火) 職場訪問例会(岡三証券)の件 承認

飯田 聡君 本日ガバナー補佐 西田重好様をお
迎えます。また外来卓話にて清水清三郎商店(株)
の清水慎一郎様のお話を頂戴します。どうぞよろ
しくお願い致します。

伊藤 孝行君 商工会議所125周年記念に際し、日本
商工会議所より議員永年表彰を受章致しましたので。

村木 正二君 西田アシスタントガバナー (AG)
御苦労をおかけします。!

栗田 明君 清水さん、今日は大変ご多忙の中よ
くお越し頂きました。よろしくお祈りします。

鈴木 康義君 清水慎一郎様、お忙しい中お越し
いただきありがとうございます。

河川 高君 西田ガバナー補佐、ご苦勞様です。
心から歓迎致します。清水慎一郎様の卓話楽し
みに拝聴します。

今野信太郎君 ・西田重好ガバナー補佐、本日はよ
うこそ当クラブへお越し頂き、ありがとうございます。

・清水慎一郎様、本日の卓話よろしくお祈り致します。
・栗田会員、昨日は大変お世話になりました。あり
がとうございました。

岡部 宏司君 11月25日の久友会・南友会の親睦ゴ
ルフコンペにおいて、宝くじに当たった様なハンディ
キャップを頂き優勝となりました。久しぶりでした。

清水清三郎商店(株) 代表取締役 清水慎一郎様をお迎えて、!
田口浩司君、佐々木喬君、伊藤 仁君、山田俊郎君
今西孝彰君、野地洋彰君、山本哲司君、吹戸研一君
山本哲也君、吉村哲夫君、日比隆幸君、竹内敏明君
小泉智英君、日南田隆司君

ガバナー補佐 西田重好様をお迎えて、!
佐々木喬君、伊藤 仁君、松田英明君、鈴木康義君
日比隆幸君、竹内敏明君、土田研輔君

外来卓話

味酒鈴鹿国 (うまさけすずかのくに)

清水清三郎商店株式会社

代表取締役 清水慎一郎 様



伊勢志摩サミット・ワーキングランチ
の乾杯酒に選ばれ、日本はもとより世界
的な銘酒として名高い「作」(智・さと
り、純米大吟醸)を醸造されている清水
清三郎商店(株)代表取締役 清水慎一郎
様をお迎えし、卓話を頂きました。

・清水清三郎商店の歩み

1869年に大黒屋清水清三郎商店として鈴鹿市若松
で創業しました。1952年に個人商店を会社法人に改
組しましたが、法人になって60周年の2012年、創
業時の名前に戻そうということで清水清三郎商店株
式会社と社名を変え、来年で150周年を迎えます。

・味酒鈴鹿国 (うまさけすずかのくに) 実は古来の 酒どころ三重と鈴鹿と日本酒の歴史

三重県は世間では酒どころというイメージがあ
まりありません。しかし農業の神様でもある伊勢神宮
ではその歴史が稲作文化を育てています。稲作と切
っても切れない酒は古来続く6月、10月、12月の神宮
のお祭りのために醸造されてきました。実は三重県
は国内で最も歴史ある酒どころで、1500年以上前か
ら日本酒が醸造されてきたのです。

更に鈴鹿の酒の歴史は古く、天照大神 (あまて
らすおおみかみ) の命を受け、鎮座場所を現在の伊勢
神宮に定めるまでの行幸の様子を書いた「倭姫命世
記」(やまとひめのみことせいき) に味酒鈴鹿国 (う
まさけすずかのくに) の記述が見られます。これら
のことより、「うまさけ」とは鈴鹿に係る枕詞として、
現在に伝えられています。これは都から伊勢神宮へ
の道中にあたる鈴鹿の酒はおいしいということが、
当時の都の人々のあいだで広く認知されていたこと
の証であると考えられます。

・「三重」という県名の由来

その昔倭建命 (やまとたけるのみこと) は時の朝
廷の意向により東国を支配下に置くために東行
を命じられます。その後伊勢に行き、倭姫 (やまと
ひめ) から草薙剣 (くさなぎのつるぎ) を授かります。
ある時野火に囲まれるが、草薙剣で周囲の草を
刈り、難を逃れます。その地よりさらに進み、傷
ついて鈴鹿の近くにとどり着いた時、倭建命は、「私

の足は三重に曲がりまるで勾餅 (まがりもち) のよ
うだ。とても疲れた」という歌を詠み、力尽まし
た。歌にあった「三重」が村の名前となり、それが
県名の由来と言われています。

・酒が飲めない杜氏がつくる酒

清水清三郎商店では鈴鹿市出身の杜氏が20年間酒
を造っています。実はその杜氏は酒が飲めません。
以前営業に行った際「酒が飲めない杜氏がつくった
酒が信用できるか」とも言われました。しかし彼は
非常に繊細な舌をもって品質管理をします。酒が飲
めない杜氏がつくる酒とういのが当社の特徴です。
彼はいわゆる「酒らしい酒」を嫌い、非常に柔らか
いタッチの酒をつくります。その舌と感性は世界が
受け入れた要因のひとつになっています。一般的に
「杜氏が酒をつくる」といわれていますが、実際は酵
母という微生物が酒をつくっています。当社の杜氏
は酵母どんな気分で酒をつくっているかというこ
とを想像する能力が非常に優れています。その技術
をもつ彼にはとても感謝しています。

・地元鈴鹿の伝統産業とのコラボレーション

同じ地元の伝統産業である伊勢型紙をラベルに用
いています。白子地区では日本中で着物の柄をすべて
作っていた歴史があります。当時は職人だけではなく、
流行をつくるデザイナー、プロデューサーなどがこの
地に集まっていました。伊勢型紙のデザインをラベル
にした商品「鈴鹿川」が発売されています。また墨も
鈴鹿の伝統産業です。墨アートをラベルのモチーフに
したお酒も販売しています。流行をつくるデザインや
レベルの高い技術。実は江戸時代の鈴鹿には非常に
感性の高い人たちが活動していたのです。

・サケ・コンペティション

積極的に世界的なコンテストに出展しています。
2017年のサケ・コンペティションでは「作」は純米
酒部門で1位と2位を受賞しました。また、今年
は純米吟醸部門で1位を頂きました。最近の品評会
では近頃日本酒に目覚めたという元サッカー日本代
表の中田英寿さんが日本酒の良さを世界に向けてPR
してくれています。

現在の日本酒は昔に比べどんどんレベルが上がり、
ワインに詳しい世界の人々にも非常においしいとい
われるまでになってきました。味酒鈴鹿国から鈴鹿
の酒の歴史に興味をもって頂き、また日本酒を味わ
ってみようという気持ちになってもらえれば大変うれ
しいです。ありがとうございました。